



梅島小だより

『礼に始まり、礼に終わる。』

副校長 鯉沼 哲

風薫るさわやかな季節となりました。新しい学年がスタートし、早くも1ヶ月が過ぎようとしています。どの学級も、新しい教室、新しい先生、新しい仲間たちとも慣れ、授業に取り組む姿勢もよくなってきました。そして、最初の大きな学校行事である運動会の準備もいよいよ始まりました。子どもたち一人一人が輝けるそんな運動会を目指していきたいと思っています。

さて、梅島小学校では今年度も、『あいさつキラキラ運動』に取り組んでいきます。4月は、6年生が担当になり、朝、校門に立ち、大きな声で「おはようございます。」のあいさつを行いました。校門を通る下級生たちは、元気な声で「おはようございます」のあいさつを返していました。その姿が微笑ましく、気持ちのよい朝の風景でした。

武道の世界では、『礼に始まり、礼に終わる。』が基本であるといわれます。試合の前後に必ず礼をします。これは、戦う相手への敬意をはらうためだとされています。また、試合を行う場所や試合を準備し運営している役員の人たちへの感謝の気持ちも含まれています。「礼」は、武道の世界だけではないと思います。朝起きて、「おはようございます。」食事をする前に「いただきます。」人に感謝するときは、「ありがとうございます。」とあいさつをします。学校でも、授業を始めるときに「これから授業をはじめます。」「はい。」終わりには、「これで授業を終わります。」「はい。」帰るときには、「さようなら。」とあいさつをします。これらの「礼」は、当たり前のことですが、人と人が関わりをもち、お互いに認め合うための基本ではないでしょうか。『礼に始まり、礼に終わる。』という言葉は、私たちが人と関わり生きていく上でとても大切な言葉であると思います。

これからも、梅島小学校の『あいさつキラキラ運動』を大切にしていきます。ぜひ、ご家庭や地域の中でも子どもたちを温かく見守っていただき、あいさつの輪を広げていただければ幸いです。